

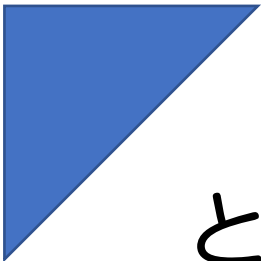
正しい  
と  
楽しい

ハンズオン

(研究会のヒアリングから)

「楽しいから続いているんだけど」

↑  
どおなの「楽しい」  
よね?



# 事例1

地域の活動に、  
いやいややってきた  
中学生が、

「楽しい！」と満面の笑顔で  
帰るまでに、何があったのか？



「楽しかった～」その理由を考えてみる

## 朝の時点の中学生（表情なし）

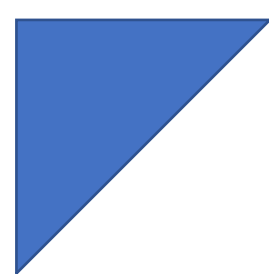
「なにをしていいかわからない」

「自分にできるのかなあ……」

「できなかったら、どうしよう」

「怒られるかな……」

「大人に言われた通りることにしよう」



「楽しかった～」その理由を考えてみる

「自分にもできることがある」

「わからなかったら、助けてもらえる」

「責められない」

「自分なりの工夫の余地がある」

「楽しかった～」その理由を考えてみる

コーディネーター（西川）から伝えたこと

「困ったことがあったら言ってね～  
失敗してもぜんぜんOKよ。」

= ①安心の保障  
(失敗もOK)

「まかせるから、  
お客さんと話しながら自分で考えて  
つくってみて」

= ②工夫の余地  
(試行錯誤歓迎)



「楽しいから続いているんです」  
の楽しいを意識していないう、  
活動は広がらず、停滞する。

「楽しい」は、  
「楽(らく)」と  
同じ意味ではない

それは、  
一緒に悩み・動き  
苦勞すること

一方、「正しい」は要注意。

最初から答え（正解）があるところ……

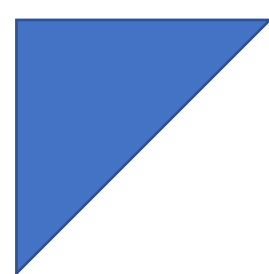
←  
評価の目線で見られる

←  
正解が答えられないと

（前年通り、会長の言うとおりにしないと）、  
責められるかもしれない……

←  
安心が保障されない場所では  
何もしないでおくのが一番





「何が正しいかについて、  
(上手に) 揺れることができ  
る組織」であるかどうか、  
その活動の広がりを決めてい  
くのではないか。

(手間がかかる、けれど)

## 人がつながり・動き出すのはどんな場所？

- ① **安心**を感じられる（気持ちの**余裕＝あそび**）  
（評価の目線がない。失敗しても大丈夫と思える）  
≡仲間がいること
  - ② 自分なりに**工夫**ができる（参加の**余地＝あそび**）  
（余地＝変える、いじることができる。  
小さな、やってみる、がある。）
- 結果として、**多様**であることが、  
互いの違いがあることが  
「おもしろい！」と感じられる場に

その環境を整えること

① 安心の保証

② (ちようどいい)  
工夫の余地の確保、

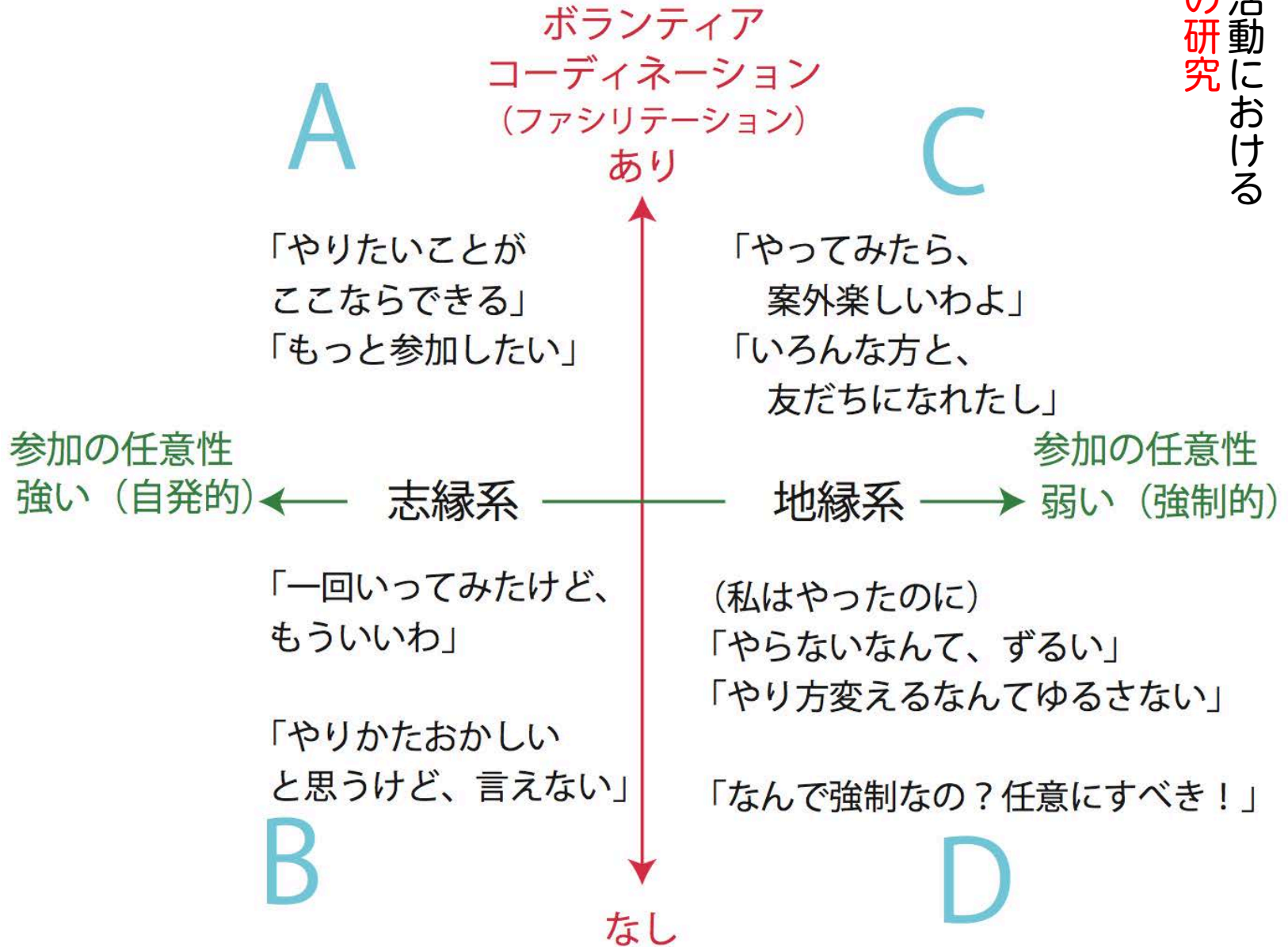
すなわち、

ボランティアコーディネーション  
があれば、

人は何かを試してみようと思っ

らしい

いわゆる「負担感」は  
ボランティアコーディネーション  
の有無に左右される



自分が楽しいと感じる活動であれば、自然と友人をつていきますよね。



ゴールを設定することから  
旅ははじまりますが、  
旅の醍醐味は、道中にあり。  
まずは出発してみませんか。

